JAMI

令和7年度

自治体における生成AI ~これからの導入と活用に向けて~

皆様の自治体では、生成AIの導入・活用は進んでいますか?

住民ニーズや課題が多様化・複雑化する一方で、自治体の職員は減少傾向にあり、限られた人員で業務を効率的に遂行することがますます求められています。

この研修は、自治体職員が生成AIを効果的に活用して業務の効率化や市民サービスの向上 を図るための基本事項を学ぶ初心者向けの研修です。

研修では、事例紹介や実際に生成AIを使った演習を通して、自らの自治体での導入・実務での活用を目指すため、生成AIの基礎から学びます。

開催要領

日 程 **令和8年2月9**日(月)~**2月10**日(火)(2日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 生成AIを業務に活用したいと考える市町村の職員

(生成AIをほとんど利用したことのない初心者の方向けです。管理職等役職問いません) 2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

申込期限 令和7年12月12日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

\$118年 2月 9_{日(月)} 11:00~ 入寮受付•昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講 自治体における生成AIの利活用について

総務省自治行政局市町村課行政経営支援室 室長 村上 仰志 氏 『自治体における A I 活用・導入ガイドブック』をもとに、自治体での A I 導入について、基本的な事項・ガイドラインの策定についてお話しいただきます。

14:25~17:00

講義・演習 AI活用導入にあたっての留意事項と業務効率化の可能性

総務省地域情報化アドバイザー/

宮崎県都城市役所総合政策部デジタル統括課 副課長 佐藤 泰格 氏自治体での生成 AIの留意事項や活用方法等についてお話しいただきます。

演習では、実際に生成AIの操作を行い、活用方法を体験します。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

^{会和8年} 2月 10_{日(火)} 9:00~9:25

導入講義 自治体における生成AIの活用事例について

総務省地域情報化アドバイザー/

宮崎県都城市役所総合政策部デジタル統括課 副課長 佐藤 泰格 氏 各事例紹介の内容について解説いただきます。

9:30~11:40

事例紹介 ①西粟倉村における生成AIの取組について

岡山県西粟倉村 総務企画課 主事 **高家 直広** 氏 小規模自治体における生成 A I 活用について、「何のツール」を「どのように」活用しているのか、「どのようなルール」なのかなどを紹介いただきます。

②一関市における生成AIの活用について

岩手県一関市 市長公室 政策企画課DX推進係 主任主事 **菅原 正晴** 氏 一関市で活用されている対話型AIチャットボット等の導入や活用と効果、今後の取り組みなど について紹介いただきます。

コーディネーター:総務省地域情報化アドバイザー/

宮崎県都城市役所総合政策部デジタル統括課 副課長 佐藤 泰格 氏

12:40~14:10

演習・発表・まとめ

総務省地域情報化アドバイザー/

宮崎県都城市役所総合政策部デジタル統括課 副課長 佐藤 泰格 氏 2日間の講義・事例紹介から学んだことを踏まえ、生成AIを業務で活用するためのプロンプト 作成等の演習を通じて学び、受講者自身の業務での生成AIの活用について取り組んでいくことを考えます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。